



## 主な内容

- コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)協定締結・・・2面
- 会計年度任用職員の登録・・・2面
- 人事行政の運営等の状況を公表・・・3面
- イベント情報・・・4面
- 12月3日～9日は「障害者週間」・・・5面
- 11月は児童虐待防止推進月間・・・6面
- 令和2年度 学童保育室入室申請の受付・・・7面

# 平和の集い

## ～我孫子から平和を願う～

8月8日～10日に被爆地・長崎に派遣した中学生12人が、現地での活動を報告します。被爆体験講話や同世代との交流などを通じて抱いた平和への思いを、ぜひ聴きにきてください。

我孫子市長 星野 順一郎

日時 12月1日(日)午後1時～4時

場所 けやきプラザホール

☎ 企画課・内線212



派遣中学生による報告(平成30年)

**第1部 長崎派遣中学生による報告 1時10分～2時10分**



▲平和祈念像と派遣中学生12人

私たち派遣中学生12人は、長崎でさまざまな体験をし、非常に充実した日々を送ることができました。

実際に被爆された方の話を聞くと、原爆の悲惨さをより感じました。戦争中は勉強もスポーツもできなかったと聞き、今の生活では考えられません。

当日は、戦争や原爆について現地で学び、肌で感じたことを伝えます。みんなで「平和」を考えましょう。

長崎派遣団長 鈴木友瀬さん(布佐中学校2年)



**第2部 モノオペラ 「焼き場に立つ少年」 2時20分～2時50分**



▲岡本静子さん



▲西元真澄さん

原爆投下後の長崎で、亡くなった弟の焼く順番を待っている「焼き場に立つ少年」の写真。この少年の気持ちを表現しようと、青英権さんが作曲したモノオペラを、岡本静子さん(ソプラノ)と西元真澄さん(ピアノ)が上演します。

**第3部 我孫子中学校演劇部 「消えた八月」 3時～3時50分**



▲平成30年の様子

夏休みの自由研究で「戦争体験者に聞く、第二次世界大戦の実態」をテーマにした中学生たち。8月の暑い日、戦争体験者の老夫婦に話を聞きに行くが、追い返されてしまう。ふと家の中に目をやると、なぜかカレンダーは9月になっている。夫婦が戦争のことを話したがないのはなぜなのか…

## 「平和の集い ～我孫子から平和を願う～」展

市の平和の取り組みや、市内にある平和のシンボルを紹介する展示、長崎原爆資料館が所蔵する写真のパネル展示などを行います。

期間 11月20日(水)～12月1日(日)午前9時～午後7時(アビシルベは午後6時、最終日はいずれも5時まで)

場所 アビシルベ、けやきプラザギャラリー1・2



▲浦上天主堂(提供:長崎原爆資料館)